

ほたるの里だより



大和田小学校でのホタルの学習会

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

～ホタルが飛びますように！～

第34号 2011年7月

大和田小学校3年生のホタルの授業が今年も3回行われました。講師は、当実行委員会代表の加藤さんと副会長の桑波田が担当しました。

2007年、大和田小学校の一角にビオトープが作られ、校長先生の依頼で、ホタルの授業をお引き受けしました。その後、ホタルの生態や地域の環境（街の変化、暮らしの変化）等について、毎年授業を担当させていただきました。

大和田小学校では、毎年ホタルの飛翔が確認でき、たくさんの方が親子で観察しているそうです。最近ではホタルが見られる小学校として、市民の方にも知られるようになりまし

た。当実行委員会は、米本の近くにあるほたるの里での、ホタルの保全・再生整備活

動を展開していますが、なかなか自生が難しく、大和田小学校の水路が大いに参考となりそうです。今年の授業は、水路や周りの草取り、上陸するための土づくり、ごみ拾い等体験活動を行い、ホタルの棲める環境づくりを体験して学ぶこととなりました。具体的には、3年生の4クラスを2班に分け、2時間の授業の前半は、ホタルについての学習を全員で行い、後半は、整備作業を2クラスずつにわけて実施しました。^

授業を進めていく中で、児童がホタルへの関心が強くなっていく様子がよく見えました。整備では、全員が初めてビオトープに来たそうです。水路に生え過ぎているセリなどの草を抜いたり、ホタルが上陸する土をほぐしたりしました。水路では、幼虫のえさになるカワニナ、タニシを見つけたり、触ったりしました。「カワニナを見つけてとてもうれしかった」と感想に記入されています。

5月25日の最後の授業では、ヘイケボタルの幼虫を放流しました。「ホタルの飛翔が見られますように！」児童も私達もこの願いがかなうことを期待しています。

今回の3回の授業を通して、体験活動を行うことで、確実にホタルへの関心が強くなり、知識の相乗作用が

あることも実感しました。また、ホタルへの関心も強くなり、児童の質問に児童が答えている様子に、頼もしくなりました。

今後も、実行委員会では、ホタルの学習会等を支援していきたいと思

います。大和田小学校の校長先生、教頭先生、3年生の担任の先生、児童の皆さまに感謝いたしております。

(文責：桑波田)

人もホタルも輝く街へ！！ 私たちはほたるの里を応援しています！

石井食品株式会社

NPO 法人高齢者福祉ネット

ガールスカウト千葉県第57団

共栄物流株式会社

クボタ環境サービス株式会社

子どもネット八千代

齊藤鑿泉管工

八千代オイコス

八千代ホタルフォーラム

有限会社 A

米本団地自治会

「ほたるの里の環境整備」への思い

ほたるの里・管理部 関 和則

ほたるの里も13年目を迎え、木々も大きく成長し、里を訪れるたびに、季節ごとに数多くの動植物が見られることに改めて驚かされます。これもホタルメイトや市民の環境整備ボランティアによる里の草刈りや施設の補修等の協力、そして市事務局の地道な努力に支えられてのことと思います。

ほたるの里の早春には、ニホンアカガエルが湿地に産卵のため近くの森林からやって来ます。ニホンアカガエルは、産卵場所から繁殖期以外の活動場所までの距離が平均114m又、ヤマアカガエルでは204mとされています。ほたるの里を利用する鳥や昆虫の多くも近くの田んぼや、森林を行き来しているのをよく見かけます。これらの生物にとって、ほたるの里は周辺環境と一体の生活の場として存在していることを強く感じます。ほたるの里と周辺環境の保全があってこそ里の豊かな生物相も保たれていることを実感します。このようなことからほたるの里での草刈り等の植生遷移の管理等の作業は欠かせないものとなっています。

ほたるの里では、平成22年度に千葉県

宮城県気仙沼におけるボランティア活動

ほたるの里・管理部 深澤 一郎

4月26～28日にかけ宮城県気仙沼市総合体育館で、炊出し支援に参加できる機会を得てボランティア活動を実施しました。

ここには現時点で720人、当初2500人が避難し、自衛隊ヘリ等で救助された人が多いとのこと。炊出しは焼ソバ、けんちん汁等約1000人分準備し、他に避難所指定ではないスーパー店頭でも実施し、避難者には涙を浮かべる方も多くの被災者に感謝されました。

炊出し終了後、気仙沼市内で津波の影響のあった地区に行くと、1階の柱が折れたり、外壁が抜け落ち、2階の屋根が大きく傾き、車が引っくり

多様性モデル事業の一環として、ホタルの棲みやすい環境づくりを目指し、里の水路の一部に実験水路（ホタルハウス）を整備し、里の入り口には、ヘイケボタルやニホンアカガエルの生活史を紹介した看板を設置しました。今後は、実験水路でのホタルの増殖に期待するとともに、その成果を「里の湿地」でのホタルの自生につなげるため、また、ニホンアカガエルやメダカやトンボ等の生物のより棲みやすい環境をつくる方策の一つとして、今年度は湿地の田んぼ化を進めています。

今後の環境整備を行うに当たっては、動植物調査の実施より里内の動植物の実態を把握し、その実態に合わせた動植物の育成管理も必要と思われます。また、水路の一部を剪定枝による粗朶柵化、粗朶積み、巣箱の設置等、生物を呼び寄せ育てるフィールド実験の場としてチャレンジしていくのも一つの方向かと思われます。多くの方が、ほたるの里を通じて生物の不思議さや命の繋がりを見られる場となるよう生物の視点に立った維持管理や育成管理に心掛けていきたいと思っています。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。



（焼け焦げて幽霊船のような大型船）

返ったりで被害の凄さに愕然としました。被害は低地へ行くにつれ更にひどい状況で、テレビや新聞で見ての通り建物は跡形も無く、おびただしい瓦礫の山が累々と広がっていました。気仙沼港の岸壁には

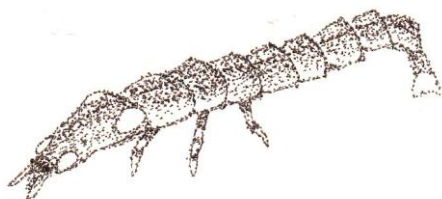
火災で真っ黒く焼け焦げた大型船が並び、漁船は建物に乗り上げたり横倒しになっており、津波の破壊力の凄まじさを見せていました。今回の東日本大震災による

津波は多くの人命を奪い、今なお収束の見えない福島第一原発の事

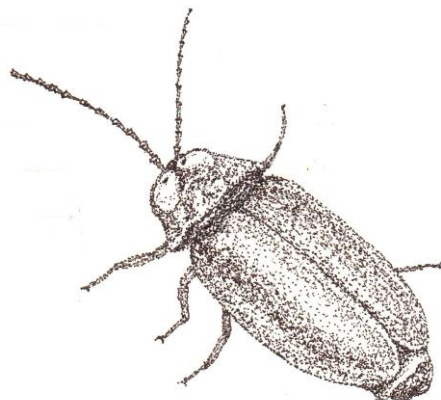
故による放射線被害等計り知れない影響をおよぼしました。被災地には復興に向かって多くの困難が待ち受けている事と思いますが、これからも息の長い支援を続けて行くことが必要と強く感じました。

ぼくはクロマドボタルです。
陸にすんでいるホタルです。
ぽおっとやさしく光っているよ。
八千代の谷津にもすんでいるよ。
かんさつにいくときは
おとなの人といっしょだよ！！

成虫 ♂(オス) 約10 mm
♀(メス) 約15 mm



幼虫 ♂(オス) 15～19 mm
♀(メス) 20～28 mm



(もり)

富里のホタル観賞ウォーキングに参加しました！

6月11日の夜7時から9時にかけて、「NPO 富里のホタル」の開催したホタル観賞ウォーキングにホタルメイト数人と参加しました。

当日の朝まで雨が降っていたため、夜に観賞できるか心配されましたが、幸い夕方が近づくにつれ雨は完全に止み湿度が高くホタルを見るには適している天候となりました。

ウォーキングは富里中央公園を出発して地蔵谷津に向かう約5 kmのコースでした。参加された方々は約70人、幅広い年代の方がいて、子ども連れの家族も見られました。富里中央公園から出て行き、辺りが暗くなり地蔵谷津に近づくにつれて参加者の期待の高まりを感じました。

地蔵谷津に入りかかった時に、参加者の一人が「ホタルだ！」と声上がり、それと同時に何匹ものホタルが谷津を飛び交っているのが見えました。私もホタルを見るのは10数年ぶりで思わず声を出してしまいました。ホタルの総数は20匹以上いたように思います。今回見たホタルはゲンジボタルで光が強く、

光っている時間も長かったため、ホタルの飛び交う谷津が幻想的な空間に思えました。参加者の方々もその空間に魅了され、しばらくの間同じ場所に立って観察を楽しんでいました。

今回のホタル観賞をしたことで人はホタルを見たがっていることを改めて感じました。私もその一人です。その気持ちを大切にしていくことが今ある大切な環境を守ることにつながるのでは思いました。また、ホタルが棲みやすい環境とはどのようなものか、八千代でホタルを見るためにはどうしたらよいか、ほたるの里でホタルが自生するにはどうすればいいのか、地蔵谷津を見ながら考えを巡らしました。斜面林と水路があるなど環境の良さがまず感じられましたが、NPOの皆さんの手による環境整備がしっかりされていることも見てとれました。私がほたるの里でできることの一つとして環境整備があります。そこからホタルメイトの皆さんと一緒により良いほたるの里にしていければと思っております。今後ともよろしくお願い致します。(広報部 鈴木)



◆ほたるの里から水の旅◆ ～ちっこ清水の水はどこへ流れるの?～

「ほたるの里からの水の旅」をテーマに、環境保全課と共催で子ども環境教室を開催します。

「ほたるの里」の隣りにある「乳子清水」の湧水は、新川、印旛沼へと流れていきます。水の流れと生き物を調べるために、バスで印旛沼に行き屋形船に乗ります。その後、ほたるの里に行き、湧水や生き物などついて学習します。

日 時：7月21日（木）

8時30分～15時30分 ※雨天決行

集合場所：八千代市役所玄関前（午前8時30分集合）

対 象：市内の小学4～6年生

参加費：500円（保険料、資料代）

募集人数：抽選30人

申し込み 往復ハガキに住所・参加するお子様の氏名・年齢・電話番号・保護者の方の氏名を書いて環境保全課まで、7月7日（木）当日消印有効、持ち物などは後日通知します。

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時に受け付けているほか、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円

窓 口：120円

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

★ 里の環境整備

ほたるの里で、生きものが棲みやすい環境づくりをしています。主にヘイケボタルの水路づくりをします。たくさんのご参加をお待ちしております。

日時：7月23日（土）及び8月27日（土）

午前9時から11時ごろ

9月24日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：長袖、長ズボン、長靴、帽子、飲み物、軍手、汚れてもよい服装で

■ ザリガニ釣り大会

ほたるの里でザリガニ釣りを行います。入賞者にはプレゼントあり！ 家族でご参加ください。

日時：8月27日（土）午前9時から11時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：釣竿、エサ、バケツなど

注意：暑いので帽子や飲み物など、

各自で暑さ対策をして下さい。



八千代市里山の生き物展開催！

八千代市郷土博物館（村上）で、八千代市環境保全課主催の里山の生き物展と昆虫観察会を開催いたします。カブトムシなどの展示を予定しています。ぜひご来場ください。

昆虫展の期間：7月27日（水）～8月4日（木）

場所：八千代市郷土博物館（月曜休館）

八千代村上1170-2 ※イズミヤから徒歩1分

◎ 昆虫教室

郷土博物館近辺で昆虫観察をします。親子でも参加できます。

日時：7月29日（金）午前9時～正午

対象：市内の小学4年生から大人の方 先着20人

費用：保険代として50円

申込：7月15日から市役所環境保全課

Tel 483-1151へ



【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局